北海道医療大学　地域連携に関する基本方針

北海道医療大学は、生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献することを基本的な教育理念としている。そして、社会の要請と期待に応えるため、社会と共生・協働する自由で開かれた大学を志向し、「21 世紀の新しい健康科学の構築」を追究することを行動指針と定めている。

本学の教育理念と行動指針を具現化するため、ここに北海道医療大学の地域連携に関する基本方針を定める。

地域連携に向けた方針を以下のとおり定める

１．医療・保健・福祉に係る地域の「知の拠点」として、積極的に地域の活性化に係り、広く地域に開かれた大学を目指す。

２．地域課題に関心を持ち、その解決に積極的に取り組むことのできる人材を育成する。

３．地域社会の発展に貢献することのできる人材を育成するための質の高い教育・研究環境を整える。

地域連携の施策を以下のとおりとする

１．地域との連携・協働事業の活性化

地域の地方自治体等と、産学官連携の推進に向けて大学の地域貢献に係る包括連携協定を締結し、継続的に連携事業を積極的に行うとともに、地域発展のためのシンクタンク機能を果たすための諸事業を行う。

２．人材の育成と教育の充実

地域の課題解決に取り組み、地域での活動への参加を通じて地域社会の発展に主体的に貢献することができるよう、地域を対象としたカリキュラムの整備を行う。

３．地域の課題解決に向けた研究の促進

地域課題の解決を目的とした研究活動を活性化する。

４．生涯学習講座の充実

地域社会一般の教養の啓発を目的とした生涯学習講座（公開講座）を 40 講座以上開講する。

地域連携事業に関する指標について

地域連携推進センターでは、「地域連携に関する基本方針（以下、基本方針）」に定める各種の施策・事業に関して、より具体的な数値目標（活動指標）及び施策・事業の成果としての目標値（アウトカム指標）を定めています。それぞれの達成度を定期的に測定・検証しながら、これまで以上に皆さまの期待に応える施策展開をめざしてまいります。

【指標】2025年度

施策	活動指標	アウトカム指標
1　地域との連携･協働事業の活性化	①連携自治体・連携機関との保健医療福祉に関する連携事業を、それぞれの自治体で実施する。 ②連携自治体・連携機関との意見交換・協議をそれぞれ複数回実施する。	①事業に参加した地域住民の方々が健康や福祉に関する意識が高まった（参加者アンケートで半数以上が「高まった」と回答した）。 ②意見交換・協議に基づいて、新たな事業が創出された。
2　人材の育成と教育の充実	①地域で行われるイベントやプログラムに複数人の学生が 30 回以上参加する。 ②職業体験イベントなど小中高生･保護者を対象として保健医療福祉への理解を深めるプログラムを複数回実施する。 ③全学生を対象とした地域医療・福祉に関する科目を開講する。 ④地域活動やボランティア活動実績に関するポートフォリオを提供し、全学生の半数以上がポートフォリオを取得する。 ⑤高校等での模擬講義や学校見学を年間 70 校以上実施する。	①地域で就業することへの意識が高まった（参加者アンケートで半数以上が「高まった」と回答した。就職先調査において札幌市外への就職者数が増えた。） ②ボランティアへの意識が高まった（学生生活実態調査で半数以上の方が「高まった」と回答した）。 ③模擬講義､学校見学を実施した高等学校からの入学志望者数が増加した。
3　地域の課題解決に向けた研究の促進	①連携自治体における課題を解決することを目的とした研究を年間 5 件以上、実施する。	①研究成果が各自治体における政策の変更や､新たな政策立案につながった。
4　生涯学習講座の充実	①一般向けの公開講座を年 40 回以上開催する。 ②一般向けの公開講座における参加者満足度に関して、各回 80%以上が「満足、やや満足」となるように取り組む。 ③広く地域に向けた意見募集を行い、各項目 50 件以上の意見を集める。	①寄せられた意見に基づいて、新たな講座を企画し、実施した。 ②生涯学習に関して、新たな需要者の掘り起こしにつながった（はじめての参加者が前年より 10%以上増えた）。